イノベーションの実現

エレクトロヒートシンポジウム

日本エレクトロヒートセンターは11月8日、東京・蒲田の大田区産業プラザＰｉＯで、「第14回エレクトロヒートシンポジウム」を開いた。エレクトロヒート（電気利用による加熱・冷却）システムの技術向上と普及・拡大を目指しており、今回は「・産業電化」による省エネ・脱炭素イノベーションの実現」がテーマ。自動車大手などメーカーや電力会社が登壇し、自社工場でエレクトロヒートシステムを採用して大幅な省エネルギーや二酸化炭素（CO_2）排出削減に成功した事例などを紹介した。展示エリアではメーカーや電力会社が自社ブースで、自慢の省エネ機器やサービスをアピールした。987人が来場し、にぎわいを見せた。

■オープニング　日本エレクトロヒートセンター代表理事・会長　内山 洋司 氏

近年の集中豪雨や気温の上昇、台風などと原災害の深刻化は我々も実感しており、世界全体で気候変動対策を進めることは喫緊の課題です。日本国内では2030年度にCO_2を13年度比26%削減、50年に80%削減する目標です。6月に国の長期戦略が閣議決定され、今世紀末までの実質ゼロを目指すとしました。エネルギー供給側の電力は